

教育臨床心理実践センターだより

教育臨床心理実践センター発行
2011年9月発行 第2号

教育臨床心理実践センターは平成23年4月より、附属学校園にスクールカウンセラーを派遣しています。本号では、桃山地区（附属桃山中学校配置で、活動は他の学校園を含む）スクールカウンセラー岩瀬佳代子先生および京都地区（附属京都小中学校中高等部配置で、活動は初等部を含む）スクールカウンセラー荒井久美子先生に現在までのご勤務の状況についてご報告いただきます。

桃山地区スクールカウンセラー

岩瀬佳代子

桃山地区は幼小中高の保護者の相談が寄せられます。「子ども集団」と「個人」とのズレ、親役割の発達段階を常に意識しながら活動しています。心理教育相談室で継続的にかかわった発達の偏りを抱えた子を持つ親の相談、矯正・福祉・教育現場での臨床経験、“親にもなっていく”という自身の経験がこの活動を支えてくれています。

同年齢集団の平均的な心身の発達や感覚とのずれによる苦しさを、「心の発達の未熟な子ども」は身体症状や行動に出します。相談の始まりは親の困り感です。学校での苦しさが、家庭の日常の中で、親への依存や攻撃という形をとることもあります。SCの活動は、苦しみの症状が親子のバーバルノンバーバルな表現の中で外に出され、消化される過程を語りの中で共有させていただくことを通して、自身と家族の自己治癒力が上がることの応援です。解決の糸口をさぐるため、学校教員とのコンサルテーション、参観、他機関連携も大切にしています。

平成23年度（4月～8月） 相談全体

	来談者	教職員
	カウンセリング	コンサルテーション
実相談件数	37	21
のべ相談件数	60	54



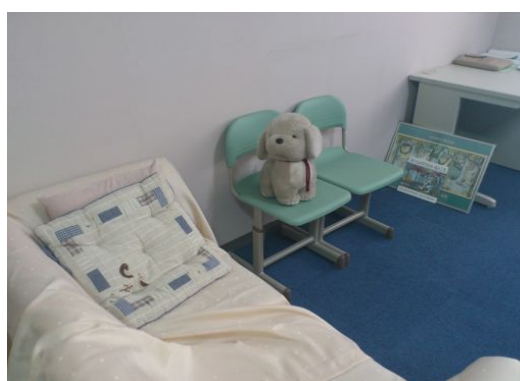
京都地区スクールカウンセラー

荒井久美子

今年の4月から、附属京都小中学校中高等部でスクールカウンセラーとして勤務しています。初等部も合わせて、京都地区担当という形をとっています。はじめて京都小中学校にうかがってまず印象的だったのは、紫明通から続く一連の豊かな緑に囲まれた環境でした。カウンセリング室は、中高等部のある東エリアの講堂の奥の静かな場所にあり、目の前にある大きな桜の木が季節の移り変わりを教えてくれます。カウンセリング室は相談員として実習をおこなっている大学院生と共同で使用しており、相談員のみなさんも、少しでも心とむ場所になるよう、カウンセリング室の装飾や利用の仕方など、様々な工夫を重ねてくれています。附属学校園へのスクールカウンセラー配置初年度ということで、期待の大きさも感じるところです。教育臨床心理実践センターという組織のサポートを受けながら、少しずつ学校に根付いていけるよう、模索しながら活動していきたいと考えています。

平成23年度（4月～8月） 相談全体

	来談者	教職員
	カウンセリング	コンサルテーション
実相談件数	16	11
のべ相談件数	28	20



お知らせ

- 教育臨床心理実践センター主催ワークショップ「映画と精神医学（仮）」
映画を題材に精神医学的観点から今日の教育的課題を考えます。
日時・場所：2012年2月23日(木)15時～17時 教授スキル実習室
中村道彦先生（メンタルクリニックラッコリン院長、本学名誉教授）
- 心理教育相談室では、平成24年3月末まで、東北地方太平洋沖地震の被災者および東北地方太平洋沖地震に直接関連する相談は無料で行っております。

心理教育相談室について 個人・家族・学校などの悩みや困った問題について心理的援助を行っています。まずは電話にてお気軽にご連絡ください。
075-644-8824（月曜～金曜、午前10時～午後4時）

編集後記 ニュースレター第2号では、附属へのスクールカウンセラー派遣事業およびワークショップについてお知らせしました。今後とも教育臨床心理実践センターをどうぞよろしくお願いいたします（花田里欧子）。